令和８年度　　通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点
芸術	音楽Ⅰ	2	選択科目

指導目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

教科書	副教材等	添削指導	面接指導
高校生の音楽1（教育芸術社）		6回	8単位時間

多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免実施の有無	□	実施している	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし
	☑	実施していない		

添削指導（レポート）

回	学習内容	対応する面接指導の回	提出期限
1	歌唱の基本、楽譜の読み方及び曲想と歌詞・音楽の構造との関わりを学ぶ。	1	5月13日
2	器楽の基本的な奏法を学び、曲想にふさわしい表現を工夫する。	2	6月6日
3	リズム、旋律、和音等を理解し、音を音楽へ構成する創作活動に取り組む。	3	7月4日
4	日本の伝統音楽と諸民族の音楽を鑑賞し、文化的背景と表現の特徴を考察する。	4	8月8日
5	西洋音楽の歴史と代表的な作品を鑑賞し、音楽のよさや美しさを味わう。	5	11月11日
6	歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習を振り返り、音楽と生活・社会との関わりを考える。	6	1月20日

面接指導(スクーリング)

回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		歌唱の基本姿勢・呼吸・発声を学び、曲想を捉えて表現する。	各学習センター	5月
2		楽譜の基本を確認し、リズムや旋律を正確に捉える。	各学習センター	6月
3		リコーダー又はギター等の基本的な奏法を身に付ける。	各学習センター	7月
4		曲想にふさわしい歌唱・器楽表現を工夫する。	各学習センター	8月
5		リズムや旋律の特徴を生かした創作活動に取り組む。	各学習センター	10月
6		日本及び世界の伝統音楽を鑑賞し、音楽文化の多様性を考える。	各学習センター	11月
7		西洋音楽の代表的な作品を鑑賞し、音楽の構造と表現上の効果を捉える。	各学習センター	12月
8		学習成果を発表・共有し、音楽と生活・社会との関わりをまとめる。	各学習センター	1月

多様なメディアを利用した学習

計画段階では実施予定なし

試験

回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	レポート1～3	各学習センター	9月
2	レポート4～6	各学習センター	2月

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準

添削指導、面接指導、試験の結果を、本校の「学習評価および単位認定の方針」及び評定基準に基づき総合的に評価する。所定の添削課題の提出、面接指導の受講及び試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。

その他

各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。